

ぴっぷ議会だより

【今月号の表紙】

秋空の下、比布中央学校マラソン記録会が開催され、保護者の声援を受けながら、子どもたちが風をきって駆け抜けました。



- 02 「第3回定例会」審議結果
- 04 ここが聞きたい！一般質問
- 07 令和4年度各会計決算審議
- 10 委員会の活動
- 12 議員研修報告



スキー場運営事業補正予算 1,900万円などを可決

第3回定例会

9月4日～6日に開かれた令和5年第3回定例会では、令和4年度比布町歳入歳出決算認定をはじめ、議案8件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に
関する法律に基づく報告

令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全性を示すものです。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標があり、本町の財政はいずれも基準値内で「健全である」との報告がありました。

◆放棄した私債権の報告

町が必要な措置を講じたが、時効期間満了により徴収することができなくなった私債権を放棄することが報告されました。

認定

◆令和4年度比布町歳入歳出決算
認定

今井明信委員長ほか6人で構成する決算特別委員会に付託され、審議の結果、認定されました。

人事

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、牧野充記氏の任命に同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、太田茂氏の選任に同意しました。

決定

◆損害賠償額の決定

クレーン付トラックの事故による損額賠償額が決定されました。
【原案可決】

規約

◆北海道市町村職員退職手当組合
規約の変更

組合に後志広域連合が加入するため規約を変更するものです。
【原案可決】

条例

◆比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

うれし保育園の移設に伴い、定員が増加したため、子育て支援員の配置を可能とするものです。
【原案可決】

補正予算

※左ページ表を参照

◆一般会計(第3号)

◆介護保険特別会計(第1号)

【原案可決】

◆観光事業特別会計(第1号)

スキー場の夜間照明設備が経年劣化により漏電する状況となったため、省エネ化を含め更新するものです。

質疑 今井議員

ナイター営業の利用が少ない状況の中で、照明設備を更新することへの議論は尽くされたのか。

答弁 商工観光課長

スキー場の経営状況は非常に厳しいが、集客のためにはナイター

営業が必要であり、周辺施設などへの経済波及効果を維持するためにも設備を更新し、営業を継続する判断をした。

再質疑 今井議員

公営で運営することにより、財政への負担が増えるのでは。

答弁 村中町長

もちろん収支は大切であるが、補助金を活用し、本町の顔としてナイトー営業を続けていきたい。

質疑 植西議員

ナイトー利用者の中には、シーズン券購入者もいるため、そういった方たちの数も把握するべき。

答弁 商工観光課長

ナイトー営業をやめてしまうと、おそらくシーズン券購入者も減り、昼間の営業にも影響がでてくると推測されるため、今後、そういった点も含めて検討していきたい。

質疑 佐藤(良)議員

スキー場の将来を考える上で、数年後を見据えた協議が必要である。具体的な協議はされているか。

答弁 商工観光課長

現時点で具体的な協議はしていないが、今後、全体的なりニユーアールを考える時は、外部からの意見も参考にしながら検討していきたい。

賛成討論 八巻議員

暗く感じる冬の夜にナイトーの灯りを見ると、比布町の元気というものを感じる。

確かに、経済的なことを考えるとナイトー営業をやめる選択肢もあるが、スキー場を楽しむ子どもたちの笑顔や町の元気を守るためにも営業を継続することが必要と考える。

採決

賛成 8 人 (全議員)
反対なし
【賛成多数により原案可決】

※議長は議事運営上、賛否同数となった場合以外は採決に加わりません。

選挙

◆選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員及び補充員の任期満了に伴い、指名推薦により次の方々が当選しました。

【選挙管理委員】(敬称略)

- 森田 梨枝子 (3区)
- 合田 浩幸 (東町)
- 宮武 美幸 (25区)
- 近澤 徹司 (東町)

【補充員】(敬称略)

- 石井 由美子 (4区)
- 山口 秀則 (2区)
- 佐藤 真理子 (21区)
- 小柳 岳宏 (17区)

意見書を提出

次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

◆軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

臨時会

【第3回臨時会：7月25日】

◆比布町防災行政無線操作卓設備更新工事請負契約の締結
標記設備の更新にあたり、工事請負契約を締結するものです。
【原案可決】

【第4回臨時会：10月5日】

◆一般会計補正予算(第4号)
補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。

採決

賛成 7 人
反対 1 人
【賛成多数により原案可決】

令和5年度各会計補正予算(第3回定例会)

一般会計(第3号)

2,701万1千円の増

(総額43億9,172万5千円)

■特定感染症検査等事業補助金、新団地建設事業の増ほか

介護保険特別会計(第1号)

2,160万3千円の増(総額6億1,580万3千円)

■令和4年度決算確定に伴う繰越金の増ほか

観光事業特別会計(第1号)

1,900万円の増(総額1億9,906万4千円)

■省エネ設備等導入支援事業補助金、スキー場運営事業の増ほか

令和5年度一般会計補正予算(第4回臨時会)

一般会計(第4号)

1,645万6千円の増(総額44億818万1千円)

■新団地建設事業の増ほか



メンタルヘルス対策の積極的な推進を

村中町長

課内のコミュニケーションを密にし 職員の健康維持に努める



□質問・佐藤議員

令和2年地方公務員健康状況調査結果より、長期病休者（疾病等で休業30日以上、または1ヶ月以上の療養者）数（10万人率）は2,794人で前回調査より増加傾向であり、その内、「精神及び行動障害」の長期病休者全体の占める割合も61・3%で年々増加傾向にあります。そこで、以下の3点について伺います。

- ①メンタルヘルス対策の取り組み状況
- ②メンタルヘルス不調者に対しての復帰支援・再発防止対策
- ③ハラスメント研修の現状と取り組み状況

■答弁・村中町長

①令和2年に策定した「比布町職員の総労働時間短縮に関する基本方針」に基づき、時間外勤務の削減や休暇取得の促進など、職員の心身にわたる健康保持増進の取組みを推進しています。

また、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを年1回実施し、必要に応じ医師の面接指導を受けることを勧奨するなどの対応を行っています。

②長期休暇となった職員に対しては、診断書に基づく期間を療養してもらおうとともに、医師や所属長

などとの面談により、不安なく職場復帰ができるよう、業務量や勤務時間などの配慮に努めています。③「労働施策総合推進法」により、雇用管理上必要な措置を講じなければならぬとされていますが、ハラスメントに特化した研修は開催していないことから、新たな指針の策定や職員研修による周知などについて検討します。

地域包括ケアシステムの課題と問題点について

□佐藤議員 先的一般質問で、地域包括ケアシステムについては、「多くの町内外の関係機関と連携し構築されたものであり、地域が抱える課題や問題点について情報を共有し、解決に向けた協議が行われている」と町長から回答がありました。そこで、現状の課題と問題点、協議の状況を伺います。

関連質問として認知症などを予防し、介護リスクを低減させ、元気で介護の必要がない健康寿命の期間を延ばすためには、自立した日常生活を送る必要があります。具体的な施策として、介護予防に役立つ「通いの場」への参加率の増加、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施、共生・予防を柱とした認知症施策、これらの取り組みと成果について伺います。

■村中町長 本町が抱える課題の一つとして、地域医療の充実があります。特に、在宅での医療や看取りができる体制の整備が求められており、町立診療所をはじめ、町外医療機関等とも連携を図りながら検討を行っています。現段階では安定した体制の確保には至っていない状況です。

次に、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関しては、保健師などが直接各種サロン等に出向き講話や健康相談を行う健康教育事業や、健康意識の向上と実践の推進に取り組む健康マイレージ事業など健診事業を主軸に疾病予防・重症化予防等を担う保健センターと地域包括支援センターが連携し、健康への意識向上と必要な支援調整を図っています。

また、認知症施策においても、認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるようにと、平成27年から精神保健福祉士を採用し、まずは、町民に認知症を知っていたかどうかを目的に、講演会や出前講座で普及啓発を進めています。

一方、サロン参加者は固定化傾向にありますので、社会福祉協議会と協働しながら新規参加者の増加に向け取り組みます。



議員 西 浩一 議員

ICT化の更なる推進を

村中町長

スマートフォン教室などを通して 利便性や活用方法の理解を深める

□質問・植西議員

様々な分野でICT化が進んでいるものの、活用できていないのは事実です。これは、教育や地域コミュニティ、職場環境と様々な分野で課題となっています。

町のICT化の進捗状況と課題、また、今後活用を考えているツールがあればお聞かせ下さい。

■答弁・村中町長

様々な分野においてスマートフォンなどの利用が拡大され、ICTの進歩は社会を大きく変えようとしています。

地方自治体は限られた予算と人材を有効に活用し、業務の効率化や住民サービスの向上を図ることが求められています。

マイナンバーカードについては、本人確認のための公的身分証明書としてだけでなく、今後、様々な手続きがオンライン化された場合には、電子的な証明書として必要であるとともに、行政分野におけるICT化にも必要となります。健康保険証としての活用も進められているため、適切な申請促進を図ります。

また、近年は多くの方がスマートフォンなどで「LINE」を活用され、令和元年から、主に防災行政無線の放送内容の一部を通知

していますが、将来的には戸別受信機に代わる情報伝達手段の一つとして検討するとともに、双方向通信の機能を活用し、見守りなど多目的な利用についても研究したいと考えています。

さらに、ICTを適切に活用することにより、限られた予算や人材を有効に活用することができ、業務の効率化、住民サービスの質の向上を進めることができると考えています。



スマホ講座を毎年開催

GBT理解増進法成立に伴う学校用教材について

□植西議員 不確実なGBTの理解増進を図ることは、青少年の不安定な状態を助長させるばかりでメリットはありません。

教材を使い子どもたちに混乱を与えような理解増進を図るべきではないと考えますが、教育長の見解を伺います。

■北川教育長 学校現場においてはこれまで、「いかなる理由であっても差別やいじめは許されない」「どんな悩みでも相談を受ける」という観点において、ほかの困りごと同様、研修や情報共有体制を整備してきています。

他県において、子どもから相談を受けた教職員がその子のためと思い、ほかの教職員や学級の子どもたちの理解を促す行動をとった結果、その子どもが自ら命を絶つという最悪の結果を招いたという事例報告があります。

非常に難しい問題であるからこそ、学校としての原則を徹底し、子どもたちが安心して成長できる環境整備に努めてまいります。

社会の変化が加速度を増す中、未来を担う子どもたちが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身につける教育の実践に全力を尽くします。



パートナーシップ制度 導入に向けた考えは

村中町長

導入した自治体の状況を研究しながら 来年1月の運用開始を目指す



遠藤 八ル子 議員

□質問・遠藤議員

パートナーシップ制度とは、制度を導入した自治体の中で、同性カップルにも、異性カップルが結婚している場合とほぼ同等の権利を認めるものです。多様性を認め合える社会に向けて、町も力を尽くしていく事が大事だと思いますが、パートナーシップ制度の導入をどのように考えていますか。

■答弁・村中町長

7月30日に旭川市が中心となり、宣誓制度要綱案についての説明と、同性カップルの方による「多様性を尊重するまち」についての講演が行われました。

制度を導入した自治体においては、様々な意見があるようです。国や北海道の動向及び実施している自治体の状況や効果などを研究しながら、来年1月の運用開始を目指していきます。

社会全体が性の多様性を認めた上で、これを理解し尊重していくよう意識啓発をしていくことが重要であると考えています。当事者の方が抱える生きづらさの解消や地域における理解を進めることで、誰もが生きがいと誇りを持ち、自分らしく活躍できるまちづくりの準備を進めていきます。

□遠藤議員 答弁の中に、「様々な意見がある」とありましたが、どのようなことで検討しているのでしょうか。

■村中町長 先導的に導入した新宿区で、「誰でも使えるトイレ」を設置し大きな問題となり、4ヶ月ですぐに閉鎖したということがありました。公共の福祉に合致するかどうかの難しい問題だと思いますので、慎重に進めていきたいと思えます。

□遠藤議員 条例として制定し、広く周知していくのか伺います。

■村中町長 条例については義務を課し、権利を制限するときに必要とされますので、条例が必要なのか、要綱等でできるのかは1市8町でも研究しなければいけないと思えます。町としては、個人が尊重されるよう進めてまいります。

教職員働き方改革の実態と進展について

□遠藤議員 教職員の長時間労働、多忙化を解決することは極めて重要かつ緊急性の高い課題となっております。

文部科学省の「働き方改革」では長時間労働は解決していないのが実態です。

が実態です。

これまで働き方改革を行い変わった事はどのようなことですか。また、教員の異常な長時間労働の問題である月給の4%を一律支給する「教職調整額」について考えを伺います。

■北川教育長 本町においては、全教職員の超過勤務時間の上限を1か月45時間、1年360時間とし、学校管理規則に定め、全教職員の出勤をタイムカードで管理しています。

勤務時間は少しずつ改善されてきていますが、教頭の長時間勤務をはじめ、学校行事の精選・見直し、分掌業務の分担の推進、職員会議の精選・効率化など、まだ課題も残っています。

学校における働き方改革と併せて、「教職調整額」についても、検討されることが望ましいと考えています。

□遠藤議員 必要な業務であれば職員を増やす必要があるのではないかと思います。

■北川教育長 本町の教育を進めるために、職員の増員が必要だということを明確にしながら、増員の要望をしていきたいと思えます。

令和4年度各会計決算を認定

令和4年度各会計決算は、議長及び議選監査の八巻良博議員を除く議員7人で構成する決算特別委員会（委員長 今井明信副議長）を設置し、9月4日と5日の2日間にわたり審議を行いました。

定例会最終日の9月6日に、今井委員長から「委員会として令和4年度会計決算を認定すべきもの」との審査結果報告がありました。

区分	歳入合計	歳出合計	差引
一般会計	4,109,764,202 円	3,825,058,930 円 翌年度繰越額 9,898,000 円	284,705,272 円
国民健康保険特別会計	455,445,271 円	453,725,810 円	1,719,461 円
後期高齢者医療特別会計	71,344,791 円	71,329,119 円	15,672 円
介護保険特別会計	615,951,407 円	595,592,923 円	20,358,484 円
観光事業特別会計	171,907,657 円	158,108,868 円	13,798,789 円
簡易水道事業特別会計	161,013,135 円	158,276,348 円	2,736,787 円
公共下水道事業特別会計	52,800,071 円	51,630,290 円 翌年度繰越額 89,000 円	1,169,781 円
合計	5,638,226,534 円	5,313,722,288 円 翌年度繰越額 9,987,000 円	324,504,246 円

一般会計【歳入】

【植西委員】固定資産税増加の要因は新築住宅の増とのことだが、今後のまちづくりにおいて増収の分析をしているか。

【税務住民課長・保健福祉課長・総合政策室長】近年、空き地の流動化が進み、新築住宅が増加しています。今後、認定こども園の建設も増加要因と考えられますが、固定資産税の増加分析までは行っておりません。

【植西委員】キャンプ場使用料が増えているが、キャンプブームに頼らずとも比布町の強みとしていくような分析をしているか。

【商工観光課長】多目的広場をキャンプサイトとして活用したことが増加要因の一つです。利用者の満足度向上、町内への経済効果を生むためには他事業者との連携強化が必要と考えています。

【遠藤委員】マイナンバーカードの臨時申請受付は何回行い、申請率は何のくらいになったのか。あるアンケート調査では、6割の方が保険証との紐付けには反対となっているが、臨時申請受付は続けていくのか。【総務企画課長】主に休日に24回実施し、夜間の受付も行いました。国

の動向によりますが、保険証となれば100%を目指さなくてはならないと考えています。

一般会計【歳出】

総務費

【大熊委員】庁舎改築の方向性やスケジュールを町民に示してもらいたい。また、改築までの間、現庁舎に冷房設備の設置が必要ではないか。

【総務企画課長】現在議論を進めています。今後は町民委員会を設立してご意見を伺っていきます。現庁舎への冷房設備の設置は難しいですが、暑さ対策については検討します。

【植西委員】ICT化やDX化を進めるうえで専門家の助言が必要になるが、他町で事例があるように民間企業からの派遣を検討してはどうか。

【総務企画課長】専門家の派遣が財源的にも一番有利だと考えていますが、現状は人材の取り合いとなっています。

【町長】住民サービスの低下を招かないように連携中枢都市圏などで協議し歩調を合わせて進めます。

【大熊委員】ヴォレアス北海道に関して、旭川市が体育館の新設を表明したが、本町のヴィレッジ（旧中学校）はどうなっていくのか。

【総合政策室長】ヴィレッジは今後も練習拠点、町民が集える場として改修を進めていくと伺っています。

民生費

【佐藤（良）委員】特養に外国人介護福祉人材1名を導入するとのことだが、日本語での会話はどの程度か。また、今後増える傾向にあるのか。

【保健福祉課長】日常会話は問題ありません。今後も東川町の支援協議会を通じて、町内事業所の要請があれば活用していく考えです。

【植西委員】社会福祉法人運営補助は人件費がかなり削がれた補助額ではないか。また、公共性の高い施設なので行政がもっと現場の状況改善に入り込んでいくべきでは。

【保健福祉課長】管理職以外の人件費は維持していると報告を受けています。常日頃から選ばれる施設になるための人材育成などについて双方で協議をしています。

衛生費

【植西委員】下水道事業の公営企業会計化が始まるが、税金からの補填が許される企業会計と合併処理浄化槽利用者の負担額との公平性は図られているのか。

【建設課長】総務省では1トン150円程度が公平であるとしています。企業会計導入後に分析し、下水道料金を考えたいと思います。

農林業費

【植西委員】農業はコロナ禍以外にも経営基盤を脅かす事態が多くあるため、交付金事業だけではなく町単独でも手厚く支援していくべきではないか。

【農林課長】農業は国の施策によるところが大きいですが、町単独の補助事業も行っています。転作関係では令和9年から国の施策が厳格化されるため、真に必要なところへの支援を考えていきます。

【谷口委員】いちご狩り農園を増やすために補助制度が必要では。

【農林課長・商工観光課長】減少要因としては、農業の大規模化により、いちごの生育管理が難しいことや高齢化が挙げられます。これまでも厚く支援してきていますが、

他の作物との均衡を図りながら考えていきます。

【佐藤（良）委員】いちごの振興に関して金銭的な支援だけではなく、問題と解決策に寄り添って話を聞き、危機感を持って取り組むべきでは。

【農林課長】即効性のある政策は難しい状況ですが、国の水田活用直接支払交付金（転作への交付金）の厳格化に伴い、いちごを含めた野菜の振興について、関係機関と協議を進めていきたいと思っています。

商工費

【遠藤委員】いちご狩りの苗補助は総数何本への補助か。また、農園増のためには、苗の出荷までの生育管理やいちご狩りシーズン中の駐車対応などの改善も大切では。

【商工観光課長】約12万本に対して補助しており、いちご狩り農園を増やすために関係者で支援策について協議をしています。交通対応についてはシーズン前に警察に見回りを依頼しています。

消防費

【谷口委員】消防団の定数と現在の団員数は。団員が増えない理由と

して、夏場の訓練日数が多いことが挙げられると思うが見直しの考えは。

【消防署長】定数は66名、現団員は48名です。団の会議等で活動内容について協議を進めます。

教育費

【植西委員】教職員の時間外について、担任と副担任では残業時間が変わってくると思う。担任は子どもと関わる時間は事務処理ができないため、副担任が事務処理を対応するなど、すべてが担任負担にならないよう教育委員会が介入しては。

【教育長】教頭や担任を持つ教職員の時間外が多い状況ですが、副担任や支援員も授業に加わり、習熟度に応じた学習を進めています。教育委員会や地域、保護者が支援することができるよう精査していきます。

【佐藤（良）委員】教職員の有給取得状況と自宅への仕事の持ち帰り状況について把握しているか。

【教育長】有給休暇の取得状況は前期課程が14日、後期課程が10日程度です。部活動がある日以外の休日出勤はほとんどなくなり、また、担任を中心に自宅に持ち帰って仕事を教職員はいます。

後期高齢者医療特別会計

【**滋谷委員**】未収入額があるが理由は。

【**保健福祉課長**】特別徴収から普通徴収に切り替わったもので、現在1名の方から分割して納付いただいています。

介護保険特別会計

【**遠藤委員**】行政事務報告によると、利用者負担軽減事業の該当者が14人とは非課税世帯数から考えても少なくないか。また、自宅でも介護を受けながら生活したいという方が増えてきていると感じるが、特養のベット数も含め、町民の要求にあった制度へ舵取りを変えていくべきではないか。

【**保健福祉課長**】利用者負担軽減事業については、ケアプラン作成の際に専門職が関わりますので、制度の周知はできていると思っています。今後とも介護予防事業に力を入れながら、必要な方が必要なサービスを受けられるように行政として制度の整備をしていきます。

【**佐藤（良）委員**】本町の一人あたりの介護保険料は全国で比較するとの程度なのか。また、ケア会議においては、それぞれの職員に

温度差がある中、取り上げられた問題点に対して行政としてどのように助言等を行っているのか。

【**保健福祉課長**】全道でいくと上から18番目になります。ケア会議はケースを検討する会議が多く、行政としても良い方向になるよう後方支援をしています。業種は異なりますが、大きな温度差はないと認識しています。

観光事業特別会計

【**谷口委員**】リフト収入について、個人への販売が3,400万円、団体への販売が4,000万円となっているが、団体の来場を確保、増加させていくためにはどのような取り組みが必要と考えるか。

【**商工観光課長**】学校のスキー授業や各種イベント、検定会などが団体の収入ですが、関係者と連携した営業活動やスキー場単独での営業活動を重ねています。引き続き営業努力をしていきます。

総括質疑

【**遠藤委員**】今後の有害鳥獣対策について、近年は大都市の市街地にもクマやシカが現れ恐怖を感じるが、アライグマなどの被害も多くなってきた。本町にも猟友会がある

が、今後においてクマやそれ以外のどう猛で人的被害も懸念される動物への対策を猟友会とどのように行っていくのか。

【**町長**】猟友会へ駆除をお願いすることが永遠に続くとは考えていません。現在、北海道でも全道的なクマ対策の新たな仕組みを検討中ですが、町村会からも国へ要望しています。また、有害鳥獣対策全般にわたって中山間事業など地域で取り組む動きもありますので、必要な情報を周知していきます。

【**植西委員**】選択と集中について、本町は一時的に人口が社会増となり、町職員採用試験の受験者が増えるなど明るい話題もあるが、それに浮かれている場合ではなく、持続性あるまちづくりのために何を選択し財政を集中させていくのか。

【**町長**】地方公共団体は公共の福祉、多くの方の利益を追求しなければなりません。喫緊の課題は人口減少対策であり、未来を担う子どもたちには少しでも多くの財源を使い、社会で活躍してほしいと思います。同時に高齢者に対する施策など、バランスのとれたお金の使い方を考えていきます。

【**今井委員**】コロナ対策に関連した事業の検証について、町内の産業、

観光分野に有意義だったと思うが、一方で近隣都市では金融機関の感染症特別貸付等の返済が始まり、返済できない事業者もあると聞く。町も補助金等を交付した後、その事業者がどうなっているか、アフターフォローをしていく必要があると思うが。

【**町長**】この3年間は厳しく、当初は、今の状況を何とかしないと、という思いで、その後のことは考えられませんでした。補助金には運営に対する補助と投資に対する補助がありますが、補助金は支出した側も受け取った側も双方に責任があると思いますので、そういったことも考慮して大切に税金を使っていきたいと思っています。

【**今井委員**】令和4年度から義務教育学校がスタートしたが、単に人口減少による対応と考える人もいます。いま一度、義務教育学校の優位性を伺いたい。

【**教育長**】義務教育学校は今年2年目を迎えました。小学校、中学校の区切りをつけないで、成長を鈍化させないことが一番の目的でありメリットです。また教職員が子どもたちを15歳まで見守り、指導し、支援しようという意識を持つて取り組むことにより、それが可能となります。今年度中に職員室も一つになり、さらなる教育活動の飛躍が期待できると考えています。

委員会のactivities



総務常任委員会

8月23日開催

税務住民課

《報告事項》

- 令和5年度町税等の課税・収納状況
- 上川広域滞納整理機構の収納状況
- 戸籍及び住民登録人口等の推移
- 所管施設の利用状況等
- ペットボトルのリサイクルについて
- 《その他》
- 固定資産評価審査委員の選任

保健福祉課

《協議事項》

- 第3回議会定例会提出議案
- ◇ 比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案（改正

内容は2ページをご覧ください）
◇ 令和5年度一般会計・介護保険特別会計補正予算案
《その他》

- 令和4年度町立診療所指定管理業務に係る実績報告
- 社会福祉法人大悲会運営補助に係る令和4年度決算状況
- 新型コロナウイルスワクチンの接種状況
- 令和5年春開始の接種状況（65歳以上）74・8％
- 9月26日から秋開始接種を実施する。
- 保健推進員について

教育課

《報告事項》

- ▽ 学校教育係
- 1学期の学校の様子
- 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果
- 練成会グループとの包括連携事業
- ◇ 受験情報講演会：7月11日
- ◇ チャレンジゼミ：7月26～28日
- ◇ 教職員との交流会：8月7日
- キャリア教育事業「あしてらびっぷ2023」
- 8月2～5日、中央学校6年～高校生まで延75名参加

■ 君の夢プロジェクト「野球部編」
7月26日、講師 鶴岡慎也氏（元日本ハムファイターズ）



君の夢プロジェクト「野球部編」

- ▽ 文化振興係
- ほくれい塾
- 公民館事業「比布アダルトアドベンチャーズ」
- 7月9日、7名参加
- 学習サポート×ぶつくん寺子屋
- 7月24～25日
- 公民館事業「夏の実験教室」
- 7月31日
- 子ども体験教室「比布アドベンチャーズ」
- 8月4日、10日
- 郷土資料館開放デー
- 8月13～14日、延24名来館
- としよかんまつり（20周年記念）
- 7月29日、来場者にライブラリーバックを配布

■ 町民芸術鑑賞会「トルヴェール・クワルテット」小柳美奈子
9月10日

- 比布町青少年健全育成月間の取り組み
- 白寿大学
- 令和5年度比布町文化賞及び文化奨励賞の推薦



比布アダルトアドベンチャーズ

- ▽ スポーツ振興係
- 第14回全町親睦ミニバレー大会
- 6月18日、20チーム参加
- 子ども水泳教室
- 7月3・10・17日
- 第56回全町ソフトボール大会
- 8月27日、A級6チーム、B級5チーム参加
- 第4回比布町ヒルクライムレース大会及び第1回キッズバイクカップIN比布町
- 10月8日

■ 所管施設工事等発注状況

◇ 郷土資料館改修実施設計委託業務

◇ 学校内通路舗装工事

◇ 親水公園あずまや塗装工事

◇ スクールバス等運行委託業務

《協議事項》

■ 第3回議定会定例会提出議案

◇ 令和5年度一般会計補正予算案

《総務企画課》

《報告事項》

■ 第3回議定会定例会提出議案

■ 令和5年度普通交付税の決定

■ 令和5年度人事院勧告

■ 道北バス名寄線の減便

【名寄線(急行)】

1日当たりの運行回数 5往復↓0

【愛別線(永山経由)】

1日当たりの運行回数 3往復↓0

(※令和5年10月1日より減便)

■ その他

◇ 令和6年度職員採用試験

◇ ツール・ド・北海道2023

《協議事項》

■ 第3回議定会定例会提出議案

◇ 地方公共団体の財政健全化に関する報告

◇ 令和4年度比布町歳入歳出決算認定

◇ 令和5年度各会計補正予算案

産業建設常任委員会

8月28日開催

農林課

《報告事項》

■ 農作物の作付状況

■ 令和4年度いちご冬季栽培実証実績

■ 熊の日撃情報等

《協議事項》

■ 農業振興条例施行規則の一部改正案



いちご冬季栽培実証実験

商工観光課

《報告事項》

■ 商工観光課関係事業経過報告

■ 令和5年度各施設の利用状況

◇ グリーンパークぴっぷ

◇ 良佳プラザ・遊湯ぴっぷ

■ 各イベント等の実施状況

◇ ぴっぷいちご狩り

期間6月15日～7月7日、8農園、11、095人来園

◇ 第1回ぴっぷ夏まつり

8月6日開催、約6000人来場

■ 地方創生臨時交付金活用事業

◇ 2023比布町生活応援商品券給付事業

商品券利用率23・45% (8月9日現在)

《協議事項》

■ 令和5年度ぴっぷスキー場営業方針

■ 第3回議定会定例会提出議案

◇ 令和5年度一般会計・観光事業特別会計補正予算案

建設課

《報告事項》

■ 建設工事の発注及び進捗状況

■ 道路環境整備事業等の実施状況

■ 放棄した私債権の報告

■ インボイス制度への対応

■ 車両事故の報告

《協議事項》

■ 上下水道事業の公営企業法適用に伴う対応

■ 第3回議定会定例会提出議案

◇ 令和5年度一般会計補正予算案

農業委員会

《報告事項》

■ 農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

全員協議会

9月27日開催

総務企画課

■ 第13次まちづくり計画の策定

建設課

■ 第4回臨時会提出議案

◇ 令和5年度一般会計補正予算案

北海道町村議会議員研修会

全道の議会議員が集結

令和5年度北海道町村議会議員研修会が7月4日札幌市コンベンションセンターにて開催されました。全道144町村から統一地方選挙で当選した新人議員も含め熱心に聞き入りました。初めに、ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長 五百旗頭真(いおきべ まこと)氏に「ウクライナ危機後の世界と日本」と題して話をいただきました。



全道の議員で会場は超満員

次に、政治ジャーナリストの田崎 史郎(たざき しろう)氏が「日本政治の舞台裏」と題し、自分が大事にしていることの5点について話されました。

コロナ禍後、昨年に引き続き開催された全道議員研修会は女性議員が少なく寂しい限りでしたが、2人の貴重な経験に基づいたお話に、参加者は静かに聞き入り元気をもらった研修会でした。

(えんどう はるこ
遠藤ハル子)



全道町村議会広報研修会

「伝わる広報」を目指して

札幌市で全道町村議会広報研修会が開催され、広報特別委員と議会事務局職員が参加しました。

講師に自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザーの金井 茂樹(かない しげき)氏を迎え、「伝わる議会報の編集ポイント」と題して講演がされました。広報誌の発行目的は、住民と議会との良好な関係を作り、住民が議会への関心を高め、議会



「議会だより112号」に講師からアドバイス

と共により良い地域社会を作っていくことです。

また、金井氏からびつぶ議会だよりに具体的なアドバイスがなされ、「表紙の写真は表情を良くとらえている、見出しを大きくしては、町民参加ページも検討しては」などの意見をいただきました。

これからも住民の皆様には伝える議会広報誌を目指し努力してまいります。

(たにくち まさひろ
谷口雅浩)



研修報告

北海道町村 議会新任議員研修会

令和5年7月19日、札幌市にて町村議会新任議員研修会が開催され、89町村204名の新任議員が参加しました。

元全国都道府県議会議長会事務局長の鶴沼 信二（うぬましんじ）氏による「地方議会（議員）の制度と運営に関する基礎的事項について」講義を受けて、議会の権限と役割、地方議会議員の義務と与えられた権限について再認識しました。

また、住民の代表としての自覚を持ち、見識ある行動に努め、住民の皆さまが「安心して暮らせる町」として新人議員ではありますが、しっかりと役割を果たしていくことを改めて認識し、合議体の構成員として議会の機能を実現する重大な役割を感じました。

ちょこっと自己紹介

趣味は、釣り・ゴルフ・野球観戦です。
今後ともよろしく願います。



（佐藤 良彦）

研修報告

国際交流講演会 山崎内閣官房参与講演会

初めに、オペラ歌手であるヴィクトリアさんの公演会で、オペラの美声に魅了され余韻に浸りながら始まった。後段、山崎史郎（やまさき しろう）内閣官房参与から「少子高齢化と社会保障のこれから」と題し、講演を受けました。

日本は本格的な人口減少時代に突入し、都市部へ人口が集中している現状で、出生率を向上するには、地方での雇用を作り子どもを生み育てやすい社会にする必要があると話され、将来に向けてできることを今、考えさせられました。

（大熊 勝幸）



講師 山崎史郎内閣官房参与

ようこそ比布町へ！ 視察を受け入れました

9月20日、上川管内中川町議会総務・経済常任委員会と教育委員ら13人が行政視察のため本町を訪れました。

本町義務教育学校移行の経過や現況について教育委員会職員から説明を受けた後、学校校舎内外を視察しました。

また、10月4日には、滋賀県湖南市議会から10人が来町し、ふるさと納税や移住・定住支援、グリーンパークぴっぷについて、担当職員から説明を受けました。



中川町議会視察



湖南市議会視察

ヴォレアス 株式会社 VOREAS 議会議員説明会

9月27日、バレーボールチーム「ヴォレアス北海道」を運営する株式会社VOREASの池田 憲士郎（いけだ けんしろう）代表取締役社長から、現在の「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス（旧比布中学校）」の進捗状況や今後の改修などについて説明を受けました。多くの方が集い、コミュニケーションの場として利用を計画している「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」に対して、各議員からは質疑やチームへの激励の言葉がかけられました。



池田憲志郎代表取締役社長

議会のうごき

8月

- 2日 北海道森林・林業・林産業活性化促進議員
連盟連絡会総会 (札幌市、産建委員長)
- 17日 北海道町村議会広報研修会 (札幌市、委員)
- 18日 上川中央部市・町議会議長定例会議
(役場、正副議長)
家畜慰霊祭、慰霊碑解体に係る御祝いの儀
(中央ふれあい広場、議長・産建委員長)
- 21日 米麦改良協会役員会 (農協、委員)
- 23日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 28日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 30日 国際交流講演会、山崎内閣官房参与講演会
(鷹栖町、各議員)
- 31日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)

- 6日 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 戦没者追悼式 (改善センター、各議員)
- 20日 中川町議会行政視察来町
(比布中央学校、議長)
- 21日 旭川比布同郷会総会 (旭川市、議長)
- 27日 株式会社VOREAS議会議員説明会
(役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)

9月

- 1日 旭川市新庁舎落成式 (旭川市、議長)
- 4日 第3回議会定例会～6日 (役場、全議員)
決算特別委員会～5日 (役場、委員・議長)
- 5日 議会広報特別委員会 (役場、委員)

10月

- 4日 湖南市議会行政視察来町 (役場、全議員)
- 5日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第4回議会臨時会 (役場、全議員)
- 6日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 17日 上川管内議会議長研修会～18日
(当麻町ほか、正副議長)
- 19日 上川管内町村議会議員研修会
(旭川市、全議員)
- 20日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

編集後記

今年の夏は真夏日を
更新する日が続きまし
たが、「今年だけではな
い。次は今年を越す恐
れもある」と警告する
気候科学者がいます。
それは南極で海氷減
少と大西洋の循環停滞
が起きているというの
です。温暖化の影響は
海水温が上がり密度は
低くなり、海水が解け
海水の塩分濃度が下が
る。そのことによつて
高緯度地域で降水量が
増え、さらに、塩分濃
度が下がっていく。魚
の住めるところが無く
なり移動しているの
です。いつも獲れてい
た魚が獲れなくなつたり、
獲れていなかったもの
が獲れたり、漁業関
係者は驚きの連続のよ



(遠藤ハル子
えんどうはるこ)

うで、いつまで食べら
れるのかと気をもんで
いる私たちの食卓にも
影響が出ています。
気候変動に対する自
治体の政策も動きだし
てはいますが、私たち
にできること、やれば
できることを皆で話し
あい行動に移す時だと
思います。
「政治は台所から」を
合言葉に、皆さんが読
みやすい広報紙を作っ
ていきますので、議会
広報紙を読んでの感想
をお寄せください。